呉工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語表現Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0010	科目区分	一般 / 選択必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気情報工学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	『総合英語 Evergreen』，『総合英語Evergreen English Grammar 25 Lessons』，『総合英語Evergreen English Grammar 25 Lessons Workbook』(いいずな書店)，即戦ゼミ11 大学入試 ベストポイント 英語頻出問題 740［最新三訂版］（桐原書店）		
担当教員	蒲地 祐子		

到達目標

講義や演習を通じて，英文法の基本的特性を正確に理解し，適切に表現することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	新出語句・表現を覚え，英文の中で適切に使うことができる。	新出語句・表現を覚え，英文の中で使うことができる。	新出語句・表現を覚え，英文の中で使うことができない。
評価項目2	英文法の基本的特性を正確に理解し，適切に表現することができる。	英文法の基本的特性を理解し，表現することができる。	英文法の基本的特性を理解できず，表現することができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)

教育方法等

概要	中学校で学習した英文法内容を基盤とし，講義や演習をとおして，基礎的な英語表現力を身につける。
授業の進め方・方法	毎回，課題プリント（宿題）を課す。 前時学習した範囲での小テストを課す。 １つの文法項目が終わるごとに，ベストポイント740をもとに単元末テストを行う。
注意点	(1)予習では，文法書（Evergreen）を読み，概要を理解しておくこと。 (2)復習は，教科書問題，課題プリントおよび Workbookに取り組むこと。 (3)授業での疑問点や不明な点があれば，積極的に教員室に来て質問をすること。 (4)新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性がある。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Lesson 11 不定詞（２） Lesson 12 不定詞（３）	夏休み課題テスト
		2週	Plus 不定詞① Plus 不定詞②	小テスト
		3週	Lesson 13　動名詞 Plus 動名詞	小テスト
		4週	Plus 動名詞と不定詞	小テスト
		5週	Lesson 14　分詞（１） Lesson 15　分詞（２）	ベストポイント740テスト（第５章　動名詞）
		6週	Lesson 16 分詞（３）	小テスト
		7週	Plus 分詞	小テスト
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	答案返却，解説 Lesson 17　比較（１）	ベストポイント740テスト（第６章　分詞）
		10週	Lesson 18 比較（２） Plus 比較	小テスト
		11週	Lesson 19 関係詞（１） Lesson 20　関係詞（２）	ベストポイント740テスト（第10章　比較）
		12週	Lesson 21　関係詞（３） Plus 関係詞	小テスト
		13週	第22章　仮定法（１）	ベストポイント740テスト（第11章　関係詞）
		14週	第23章　仮定法（２）	小テスト
		15週	期末試験	Workbookの提出
		16週	答案返却・解答説明　春休み課題の指示 Plus 仮定法	小テスト　ベストポイント740テスト（第12章　仮定法）

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	

評価割合					
	定期試験	小テスト	単元末テスト	提出物	合計
総合評価割合	60	20	10	10	100
基礎的能力	60	20	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0